

かなぎ民俗だより



浜田市金城民俗資料館



浜田市金城歴史民俗資料館

西中国山地民具を守る会

〒697-0211 浜田市金城町波佐

TEL 0855-44-0146 FAX 0855-44-0143

かなぎ民俗

だ
よ
り

第1号 2006年8月1日

浜田市金城民俗資料館

浜田市金城歴史民俗資料館

暑中お見舞い申し上げます。

さて、西中国山地民具を守る会は、昭和47年以来35年間民俗資料館の管理を受託してまいりましたが、広域合併により、今年度から浜田市金城民俗資料館・浜田市金城歴史民俗資料館の二館は指定管理者制度の導入により向こう3年間管理・運営の受託者として再スタートすることとなりました。これまで以上にご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いいたします。

平成18年8月1日

浜田市金城民俗資料館

浜田市金城歴史民俗資料館

館長 隅田正三

新市合併1周年記念企画展

「チベット巡礼探検家『求道の師 能海寛展』」

浜田市浜田郷土資料館へ出前企画展をいたします。会期は、9月15日～12月15日。今回展示する能海寛の資料は、未発表資料の250点を含む366点です。これまでに、金城歴史民俗資料館は、展示スペースが少なく、大型の資料展示が出来なかったため、未公開となっていたものです。この機会に、金城町からも多数の方々が是非閲覧されることをお勧めします。

この展示期間中を記念して、波佐文化協会では、先年に発刊した「まんが『西藏探検家 能海寛』」の読後感想文を小学生・中学生・高校生・一般を対象に募集されます。

歴史民俗資料館秋の企画展

「『島村抱月』～幼年期と生い立ち～」

会期=平成18年11月1日～平成19年8月25日

◎ 歴史民俗資料館二階展示室

島村抱月の生い立ちから生涯にわたっての詳細な記録がたどれる展示とし、抱月との写真資料も豊富に取り揃え、抱月研究の入門には、打ってつけの企画展となります。是非お楽しみください。

『能海寛著作集』好評発刊中！

当歴史民俗資料館に収蔵展示中の能海寛が書き残した、日記、書簡、研究ノート、論文などの全ての資料を生原稿のままを印刷するという、新しい出版スタイルで、著作集全14巻(6000頁)を能海寛研究会が編集、刊行中です。能海寛を研究する布石になるものと期待されています。平成21年度末には完結する予定です。

残暑お見舞い申し上げます。

さて、西中国山地民具を守る会は、昭和43年に発足いたし今年の秋に足掛け40年を迎えることとなりました。この間、実践民俗学を提唱して40年を記念して『民具を用いた労働慣行』の民俗誌を発刊する運びとなりました。

本の発行日は11月1日の予定でA4判・約212ページ、定価は3,000円(税込み)、10月20日までに予約注文された方には、2,700円(1割引)で頒布されます。

歴史民俗資料館の「特別企画展」の開催について

『金城の古代・中世展』 (会期=9月1日~12月28日)

金城町の古代から中世までの遺跡から出土した埋蔵文化財を一挙に公開。

◎ 浜田市金城歴史民俗資料館二階展示室

【文化講演会】の開催について

期日= 11月18日(日) 10:00~12:00

会場= 浜田市金城町波佐・ときわ会館

演題= 「石見の中世における神社について」

講師= 井上寛司氏(島根大学名誉教授・大阪工業大学名誉教授)

※ どなたでもお気軽にご参加ください。

【館外活動】笠松峠の畳石路の草刈清掃について

ツデーウォーク開催前に、畳石の草刈清掃作業を行います。

実施期日= 9月30日(日) 午前8時~正午 笠松峠(全長1200m)

両資料館の学芸員(非常勤)を選任

平成19年度から次の3名の方が学芸員として協力・支援をいただくことになりました。

浜田市金城歴史民俗資料館

① 岡崎秀紀さん(歴史・産業遺産)

② 高本康子さん(近代史・比較文化論)

浜田市金城民俗資料館

③ 北村春香さん(民俗・和紙)

資料館では、パワーポイントによる「出前学習塾」を行なっています。内容は、「たたら学習」、「ふるさとの偉人伝」、「紙漉き習俗」、「金城の古代・中世」、「金城の観光案内」など。

浜田市金城歴史民俗資料館・特別企画展

金城の古代・中世展

9月1日～12月28日

休館日 = 国民の祭日。火・木曜日に来館を希望されるお方は、前日までに
TEL44-0146 番へご連絡をお願いします。 開館時間 = 9:00～17:00

金城町内の全遺跡から出土した土器・石器・須恵器・陶磁器など縄文・
弥生・古墳・奈良・平安・室町の各時代の遺跡の解説とその時代に使用
されてきた出土品を一挙に展示公開します。

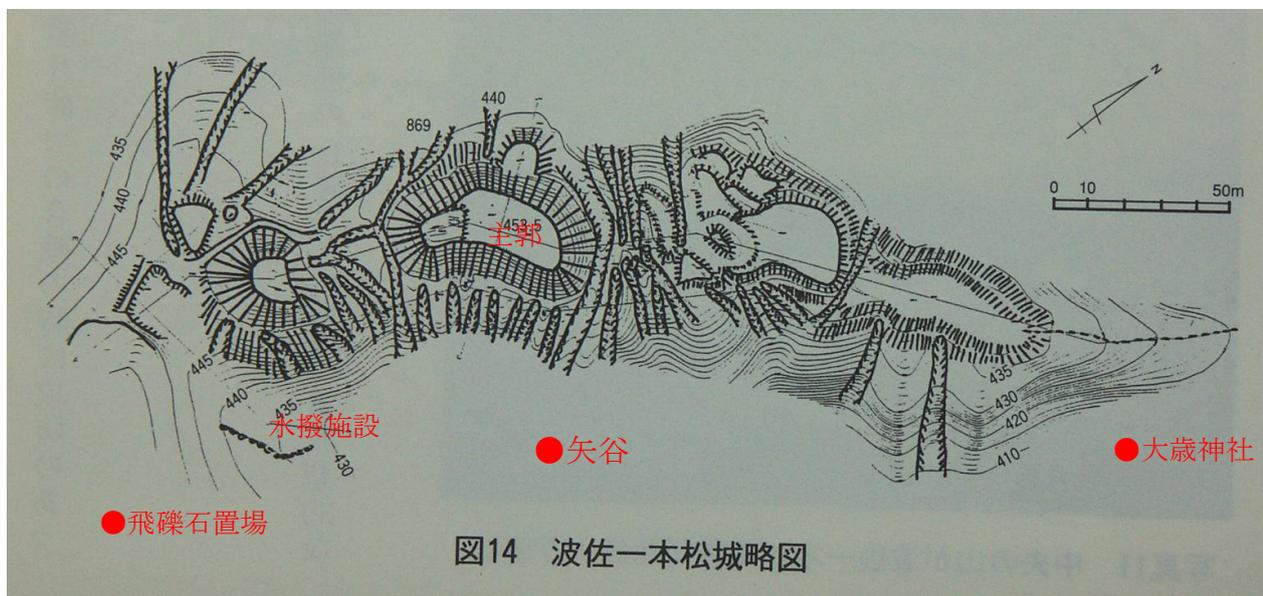


図14 波佐一本松城略図

中世の山岳城郭（竖畝型阻塞・複雑な空堀群）の波佐一本松城（市指定史跡）

※ 展示の詳細を希望されるお方は、TEL44-0146 番へお尋ねください。

西中国山地民具を守る会編

『民具を用いた労働慣行』～実践民俗学を提唱して40年～

待望の実践民俗誌いよいよこの秋11月に刊行！！ 全212頁・定価3,000円

浜田市金城歴史民俗資料館・特別企画展

金城の古代・中世展

9月1日～12月28日

休館日 = 国民の祭日。火・木曜日に来館を希望されるお方は、前日までに
TEL44-0146 番へご連絡をお願いします。 開館時間 = 9:00～17:00

金城町内の全遺跡から出土した土器・石器・須恵器・陶磁器など縄文・弥生・古墳・奈良・平安・室町の各時代の遺跡の解説とその時代に使用されてきた出土品を一挙に展示公開します。



「金城の古代・中世展」の様、30年間で発掘した考古資料を一挙に公開
※ 展示の詳細を希望されるお方は、TEL44-0146 番へお尋ねください。

西中国山地民具を守る会編

『民具を用いた労働慣行』～実践民俗学を提唱して40年～
待望の実践民俗誌いよいよこの秋11月に刊行！！ 全212頁・定価3,000円

※ 現在予約特価2,700円で受付中！

今一度見直そう！ 祖先の足跡…

常設展 『石見山村の生産用具・生活用具』

われわれの祖先が、日常の生産生活に用いた民俗資料(民具)は、今から約40年前に、金城町波佐・長田・小国地区において、西中国山地民具を守る会員が全戸訪問による聞き取り調査を経て全点数が無償提供により約3,000点の民具が収集された。この内の758点が国指定重要有形民俗文化財として、221点が島根県指定有形民俗文化財となり、全国的にも稀少な民具を収蔵している資料館である。



茅の漉簀、藁の受簀など稀少な旧製法による紙漉き用具が完全に収蔵展示されている。

量・質共に揃っている、この資料館は学術的にも高い評価を受けている。一点毎の民具には、名称・寸法・製作地・使用地・使用下限・入手方法・使用解説などが細部にわたり記録されている。幾たび訪問しても、飽きのこない資料館でもあります。民具の使用形態の写真も豊富に展示し、往時の姿を彷彿させます。ご家族お揃いで是非ともご来館ください。

近場の観光スポット(セットでお楽しみ下さい。)

浜田市金城歴史民俗資料館(「金城の古代・中世展」。能海寛資料。たたら資料展示)

天頂山浄蓮寺・能海寛顕彰碑(チベット探検家能海寛の生家と顕彰碑)

常磐山八幡宮と大絵馬(源氏の武将・佐々木高綱の建立した社。絵馬16面)

常磐の大杉とカシ林遊歩道(島根県指定天然記念物のアシオスギとカシ林33株)

普明山永昌寺・尼子経久公の墓(戦国の武将尼子経久の建立した前寺と経久の墓)

笠松峠の畳石路(市指定史跡。1,200mと全国第二位の距離を誇る畳石路)

能海寛歌碑めぐり(8箇所10基をめぐる6Kmウォーキング・コース)

島村抱月生誕地顕彰の杜公園&桑田岩石園(抱月胸像・略歴碑・歌碑。115点の岩石)

「ふるさと学習」は 金城歴史民俗資料館で

金城歴史民俗資料館は、縄文・弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉・室町時代と全時代が継続する遺跡から出土した埋蔵文化財を以って古代史・中世史を学習するのに相応しい資料館である。古代から栄えた「黒金(たたら製鉄)」を産出する、鉄穴場、炭焼き場、たたら場、鍛冶屋の一連の工程をたたら生産遺跡としている。この資料館には、往時の状況を克明に表すたたら関係古文書、関係用具類が石見地方では唯一収蔵されている。

チベット巡礼探検家の能海寛が中国西域で蒐集したチベット語経典・仏具・仏像、書き残したおびたしい記録物など3500点を収蔵している。文豪の島村抱月関係資料50点。

この資料館にある資料と資料館周辺の遺跡・建造物・城郭などで活きた歴史学習が出来る。「ふるさと学習」には、もってこいの現場である。地域丸ごと博物館といっても過言ではない。

資料館では、「ふるさと学習」に対応できる、パワーポイントによる「現地学習」や「出前学習塾」もおこなっております。対応できるメニューは、「金城の古代・中世史」、「たたら学習」、「金城の偉人・能海寛と島村抱月」、「米紙上納の歴史」、「石見の紙漉きと紙布づくり」、「民具と民俗」、「石見地方の労働慣行」、「金城の観光」などです。

鍛冶屋用具を手にする小学生 ⇒



金城の古代・中世展

9月1日～12月28日

浜田市金城歴史民俗資料館

第33回文化講演会のご案内

資料館の指定管理者である「西中国山地民具を守る会」は、例年文化講演会を実施しています。今年度は、金城歴史民俗資料館特別企画「金城の古代・中世展」に併せて、下記の日程で講演会を実施しますので、是非ともご聴講くださいませ。

記

日時 11月18日(日) 午前10時～正午
会場 浜田市金城町波佐 ときわ会館
演題 「中世の石見と神社」
講師 井上寛司氏(島根大学名誉教授)
主催 西中国山地民具を守る会
入場料 無料

※ ※ ※ ※ ※

『民具を用いた労働慣行』 いよいよ11月10日発刊！

A4版・P226 定価3,000円(税込み) 発行者：西中国山地民具を守る会

(内容) I.石見波佐地方の紙漉き習俗 II.石見の紙布づくり III.紙漉き用具・習俗から見た東西の変遷 IV.浜田市の民俗調査から V.石見山間部の暮らしと年中行事 VI.波佐の年中行事 VII.写真「楮蒸し作業・紙漉き工程・紙布づくり」 VIII.写真「民具を用いた労働慣行」(屋根葺き・荒起こし・代掻き・床ならし・代満て・稲扱ぎ・唐臼挽き・早稲搗き・楮蒸し・楮の皮剥ぎ・楮こすり・紙叩き・紙漉き・板乾し・麻の伐採・麻蒸し・大花田植・代掻きの図) IX.指定民具一覧 X.西中国山地民具を守る会の活動記録など。貴重写真満載。

金城の古代・中世展

会期：12月28日まで

浜田市金城歴史民俗資料館

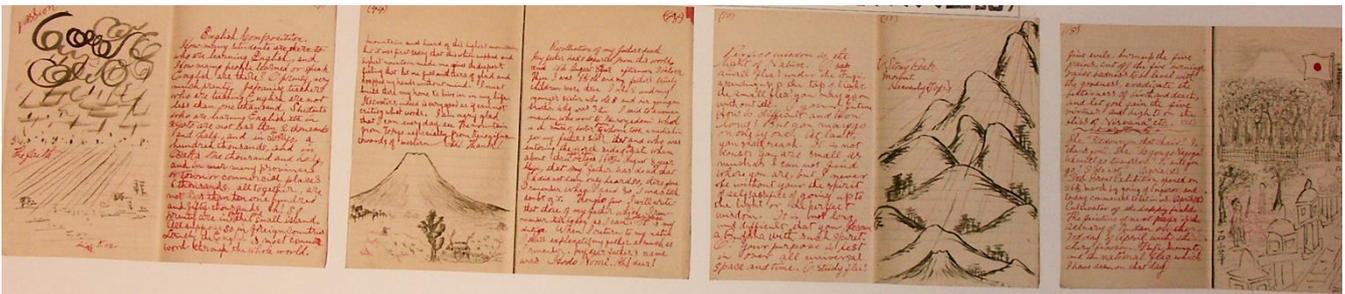
= 生誕140年 = チベット巡礼探検家 能海 寛展

会期:4月15日(火)～8月31日(日)・浜田市金城歴史民俗資料館

チベット巡礼探検家・能海寛は明治元年5月18日に浜田市金城町長田・浄蓮寺に生まれ、今年が生誕140年を迎えます。140年の節目を記念して、特別企画展を開催いたします。

【主な展示品】

将来品（経典・仏像）、石峰文庫図書、経典翻訳原本、「石見瀉高嶋記」、「口代」（遺書）、
「東北紀行」、「伊豆七島紀行」、寛が訪れて入手した資料（富士山、稲田の郷、身延山）、
寛が愛用したチベット文典・英文図書類、詠歌集、哲学館講義録、愛用の地図類、印章類、
写真類、恩師・交友関係、未発表書簡、チベット探検家10名の略歴譜などを展示。



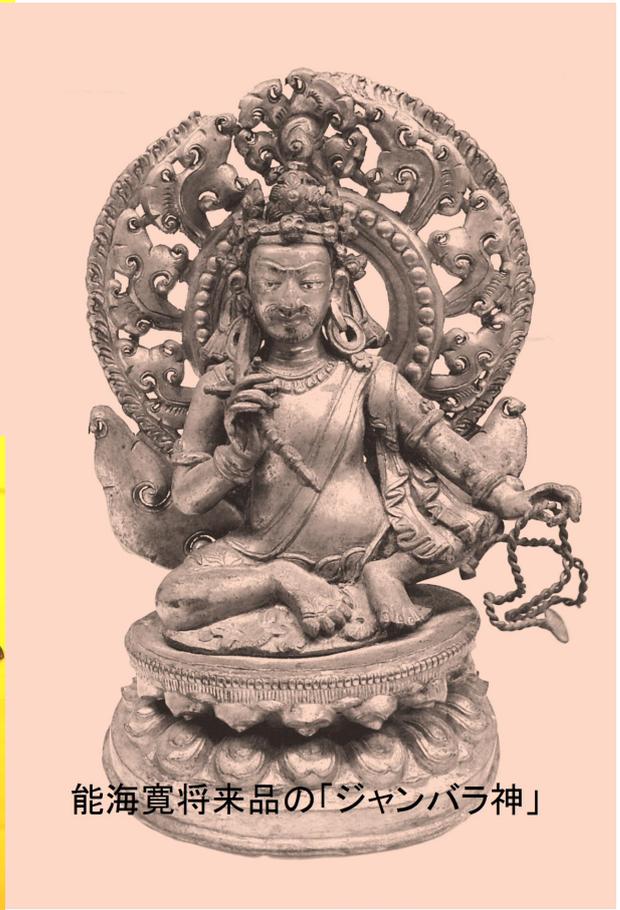
※ 寛が主宰していた英文会の資料

併せて、常設展「石見のたたら関係資料展」。常設展「石見の山村生産・生活用具」（浜田市金城民俗資料館）もご覧下さい。2館共通券です。

【近日の催し】能海寛歌碑巡りウォークは、5月3日（憲法記念日） 午前9時から
ときわ会館スタート、10基の歌碑を巡る6Kmコースのウォークラリーです。
参加希望者は、当日、午前9時までに受付を済ませてください。参加費300円。

『民具を用いた労働慣行』 大好評発売中！

A4版・P226 定価3,000円(税込み) 発行者：西中国山地民具を守る会
(内容) I.石見波佐地方の紙漉き習俗 II.石見の紙布づくり III.紙漉き用具・習俗から見た東西の変遷 IV.浜田市の民俗調査から V.石見山間部の暮らしと年中行事 VI.波佐の年中行事 VII.写真「楮蒸し作業・紙漉き工程・紙布づくり」 VIII.写真「民具を用いた労働慣行」(屋根葺き・荒起こし・代掻き・床ならし・代満て・稲扱ぎ・唐臼挽き・早稲搗き・楮蒸し・楮の皮剥ぎ・楮こすり・紙叩き・紙漉き・板乾し・麻の伐採・麻蒸し・大花田植・代掻きの図) IX.指定民具一覧 X.西中国山地民具を守る会の活動記録など。貴重写真満載。

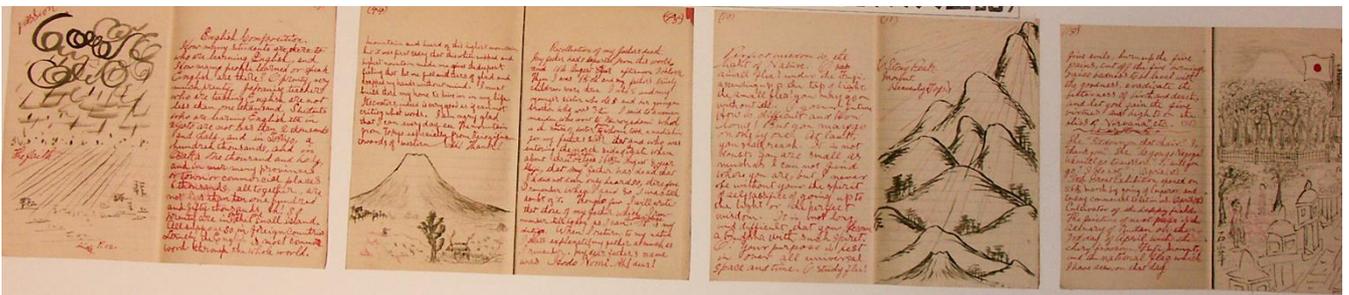


能海寛将来品の「ジャンバラ神」

チベット巡礼探検家・能海寛は明治元年5月18日に浜田市金城町長田・浄蓮寺に生まれ、今年が生誕140年を迎えます。140年の節目を記念して、特別企画展を開催いたします。

【主な展示品】

将来品（経典・仏像）、石峰文庫図書、経典翻訳原本、「石見瀉高嶋記」、「口代」（遺書）、「東北紀行」、「伊豆七島紀行」、寛が訪れて入手した資料（富士山、稲田の郷、身延山）、寛が愛用したチベット文典・英文図書類、詠歌集、哲学館講義録、愛用の地図類、印章類、写真類、恩師・交友関係、未発表書簡、チベット探検家10名の略歴譜などを展示。



浜田市金城歴史民俗資料館企画展

「能海寛生誕140年特別展」

会期：平成20年4月15日～8月31日

チベット巡礼探検家

能海 寛展

(生誕140年記念)

4月15日～8月31日

浜田市金城歴史民俗資料館



かなぎ民俗

だ
よ
り

第9号 2008年4月25日

697-0211 浜田市金城町波佐
浜田市金城歴史民俗資料館

《能海寛生誕140年記念》

千ベツ巡礼探検家「能海寛展」好評開催中！

会期：4月15日～8月31日



チベット巡礼探検家

「能海寛資料」が市指定文化財「歴史資料」に

このほど、能海寛関係資料が浜田市指定文化財「歴史資料」357点として指定登録されました。指定を記念して、企画展を実施する予定です。

【指定理由】

能海寛の活動を具体的に示す本資料は、近代日本仏教の動向を考える上で重要であるとともに、同時の日本と世界との関わりを考える上でも意味を有している。将来した仏典等については、現在の仏教研究においても重要なものである。さらに、探検時に記録された資料等については、中国西域の各地の政治、経済、産業、文化、宗教、人口、地理等の事情が記述されており、チベットを含む中国西域研究において、日本のみでなく、中国においても貴重な資料群である。

能海寛関係資料は、能海寛の個人的事象や近代仏教史、チベット研究のみでなく、文化史、政治史、交流史等をはじめとした多方面にわたる調査、研究の可能な資料群として学術上貴重である。



釈迦牟尼佛



ミラレパー聖人



チャンバラ神



マニ車



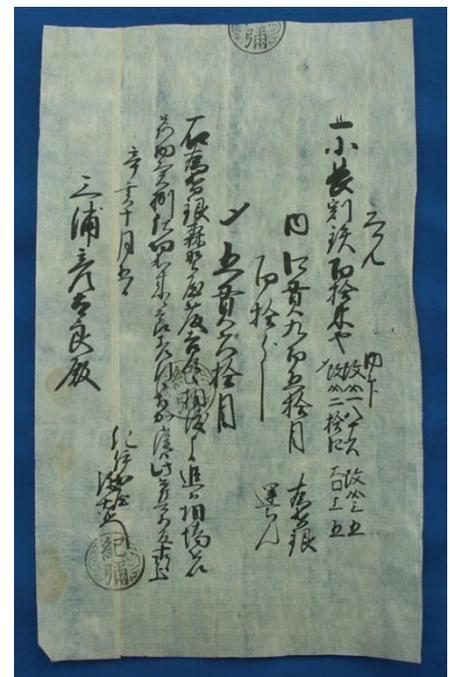
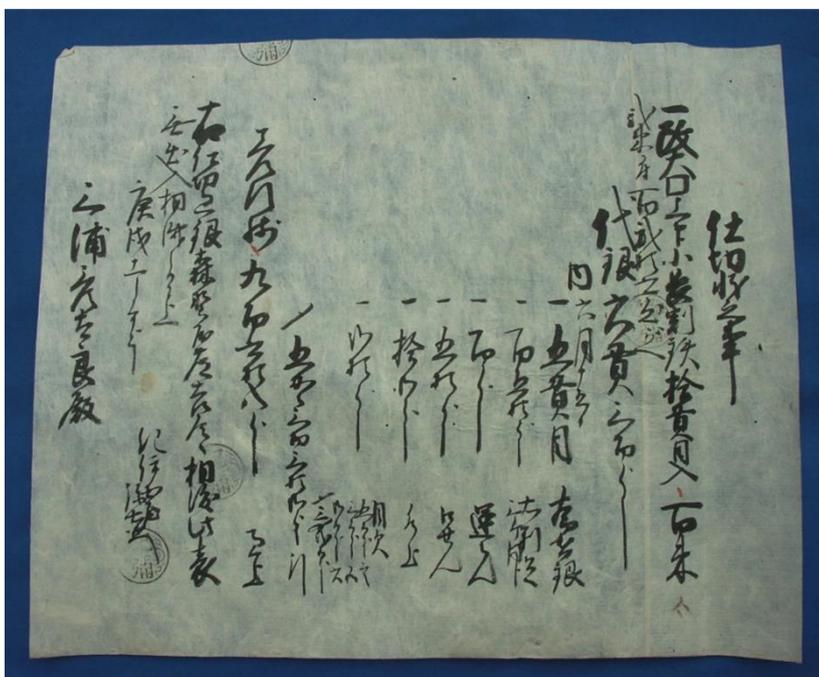
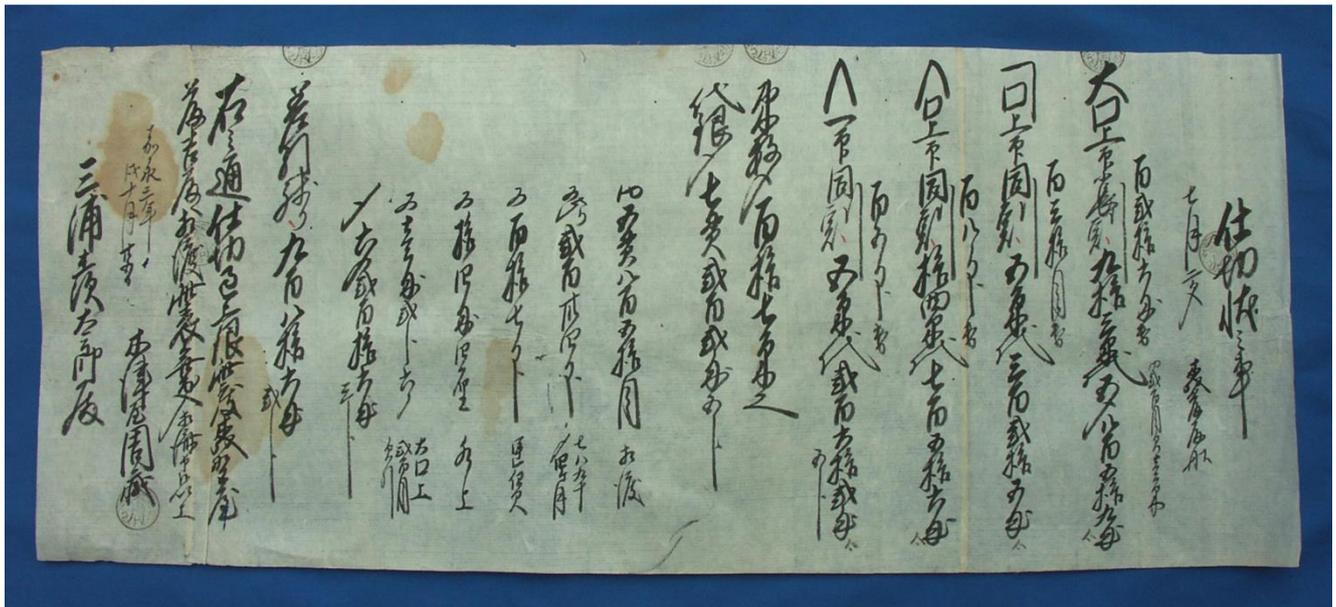
ディブル



滅十罪經典（西蔵語）

江戸時代に石見の産鉄が北前船で全国へ流通する

浜田市金城歴史民俗資料館では、このほど、たたら古文書を整理中に紀伊国屋弥右衛門、木津屋周蔵等が江戸時代に石見産の長割鉄の買い付けを行っていた証文が多数発見された。



紀伊国屋弥右衛門は石見の産鉄を買い付け北前船で、全国の港へ出荷していたのである。この文書は、嘉永年間前後のものである。江戸末期になると、紀伊国屋に替わって石見の商人たちは、競って産鉄(長割鉄)を買い付け、九州方面(熊本県など)へ流通していたことが、たたら古文書から読み取れます。平成 21 年度においては、特別企画展「石見の黒金生産と流通」をご覧いただきたいと存じます。

文化財指定記念企画展

能海寛関係資料展

会期：11月1日～3月31日

去る、7月23日に新しく市指定文化財となったチベット巡礼探検家能海寛の歴史資料357点を一挙大公開展示します。先に開催された生誕140年記念展とは異なり、内容は新指定品目を中心に展示替えを行います。この機会をお見逃しなくご観覧下さいませ。開館日は、土・日曜日は午前9時～午後5時まで。月～金曜日を希望されるお方は、前日までに電話予約をお願いします。TEL42-0146までご一報をお願いします。



波佐小学校児童が民具学習

波佐小学校3～4年生が、9月19日に民俗資料館へ総合学習で来館がありました。

11日に波佐小学校で、民具カードを用いて事前学習をしてから資料館見学であったため、児童の皆さんも理解力も増して活発な質問がなされました。

児童一人が2点ずつの民具を調べて校内で発表をするのだと伺いました。真剣にメモを取り、いろいろ端での粉曳き臼の体験や花嫁籠に交代で乗っての体験も行いました。

写真は、いろいろの間での波佐小3～4年生



= 浜田市文化財指定記念 = チベット巡礼探検家 能海 寛展

会期:11月1日(土)～3月31日(火)・浜田市金城歴史民俗資料館

チベット巡礼探検家・能海寛は明治元年5月18日に浜田市金城町長田・浄蓮寺に生まれた学僧です。今年、7月に、「能海寛関係資料」357点が、新浜田市指定文化財(歴史資料)として誕生しました。文化財指定を記念して、特別企画展を開催いたします。

【主な展示品】

日記類25点、論文5点、記述・作図57点、出納帳15点、学習資料29点、愛用図書18点、書簡16点、写真13点、仏典60点、仏像21点、仏具4点、将来書籍5点、その他29点、印章20点、地図18点、その他21点。これらの357点を中心に、文化財指定記念として展示を行います。この機会に、是非とも指定文化財をご覧ください。



※ 寛が将来した仏像と愛用の印鑑類など

併せて、常設展「石見のたたら関係資料展」。常設展「石見の山村生産・生活用具」(浜田市金城民俗資料館)もご覧下さい。2館共通券です。(月～金曜日のご来館は、予約願います)

講演会のお知らせ

演題 『吉備地方のたたら製鉄』

講師 光永真一氏(岡山県教育委員会・文化財課総括副参事)

日時 平成21年1月18日(日) 午前10時

会場 浜田市金城町波佐 ときわ会館 (0855) 44-0146

第34回文化講演会のご案内

資料館の指定管理者である「西中国山地民具を守る会」は、例年文化講演会を実施しています。今年度は、金城歴史民俗資料館常設展「石見のたたら製鉄展」に併せて、下記の日程で講演会を実施しますので、是非ともご聴講くださいませ。

記

- 日 時 1月18日(日) 午前10時～正午
- 会 場 浜田市金城町波佐 ときわ会館
- 演 題 「吉備地方のたたら製鉄」
- 講 師 光 永 真 一 氏
(岡山県教委文化財課総括副参事)
- 主 催 西中国山地民具を守る会
- 入場料 無 料

浜田市文化財指定記念

千ベツ巡礼探検家

『能海 寛展』

会期:2009年3月31日まで 好評開催中!

会場:浜田市金城歴史民俗資料館

※ 歴史資料357点を一挙公開中

第34回文化講演会

昭和51年度から夏期文化財講座としてスタートした講演会も34回目を迎えました。今回は岡山県教育委員会文化財課総括副参事の光永真一氏をお招きし、「吉備地方のたたら製鉄」と題して1月18日（日）、ときわ会館において開催いたしました。

講演では、吉備地方の数多くの製鉄遺跡の発掘に携わり、たたら生産遺跡の発掘現場の事象とたたら製鉄の発達過程を丁寧に紐解き聴講者に解りやすく解説をいただきました。



「吉備地方のたたら製鉄」講演の様 ときわ会館

文化財防火デーにちなみ消防・防災・避難訓練を実施

1月26日は「文化財防火デー」です。浜田市金城歴史民俗資料館・金城民俗資料館には貴重な文化財を収めています。「文化財防火デー」にちなみ、指定文化財を護る意識を高めるべく、浜田消防署美又出張所のご指導の下、両館の指定管理団体関係者全員参加のもと、下記の日程で消防・防災・避難訓練を実施します。

記

日時 平成21年1月31日（土）午後2時から

会場 浜田市金城歴史民俗資料館・金城民俗資料館・ときわ会館庭

第34回文化講演会（西中国山地民具を守る会）

演題『吉備地方のたたら製鉄』講師：光永真一氏

2009年1月18日・浜田市金城町波佐 ときわ会館



文化財防火デーにちなみ消防・防災・避難訓練を実施

1月31日（土）午後2時から「文化財防火デー」にちなみ、浜田消防署美又出張所石本消防士のご指導の下、消防訓練を実施した。実施概要は、両資料館の自衛消防団員（指定管理団体関係者）参加のもとに、消火訓練をときわ会館庭で、通報避難についての座学を15分間学習の後、119番通報・避難の実地訓練を資料館内で、それぞれ実施した。

金城資料館では、昨年5月に「危機管理体制組織対応マニュアル」及び「危機管理体制組織対応消防・防災計画」を策定して、自衛消防隊を立ち上げて、最初の訓練で消火・通報・避難訓練を真剣に実施し、平素からの心構えを新たにした。（写真は訓練の様相）



浜田市金城資料館指定管理者について

平成21年度4月から向こう3年間、金城資料館の指定管理者として、西中国山地民具を守る会（代表者 隅田正三）が浜田市から再委託されました。

浜田市金城両資料館の学芸員(非常勤)を再任

平成21年度以降も次の3名の方が学芸員として協力・支援をいただくことになりました。

浜田市金城歴史民俗資料館

- ① 岡崎秀紀さん（歴史・産業遺産）
- ② 高本康子さん（近代史・比較文化論）

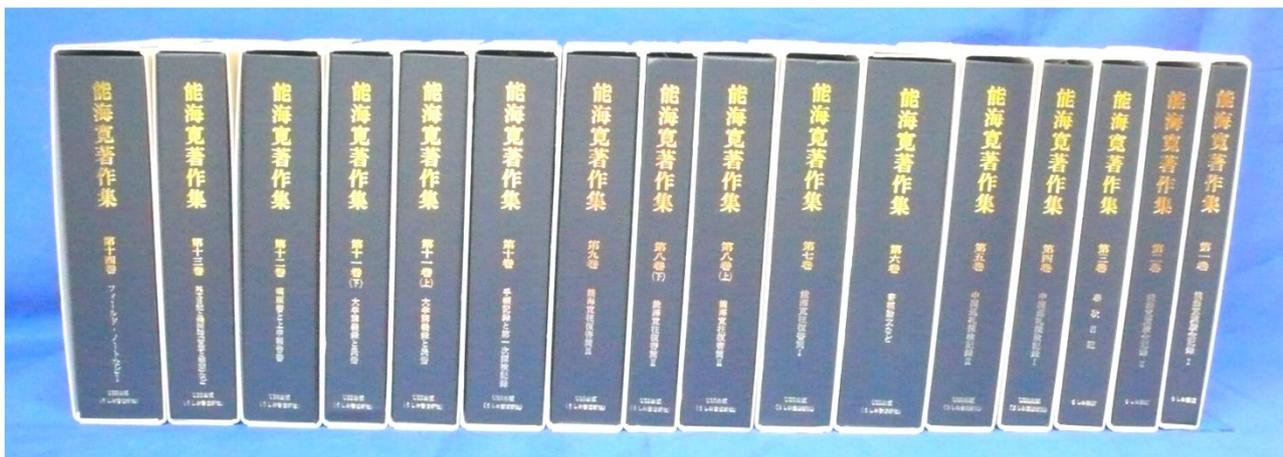
浜田市金城民俗資料館

- ③ 北村春香さん（民俗・和紙）

『能海寛著作集』全15巻が、この秋に完結

歴史資料館に収蔵展示中のチベット巡礼探検家・能海寛の資料3,000余点の内、自身が記述した全ての資料を生原稿のままを著作集として発刊する事業を能海寛研究会（会長 横田禎昭）によって、平成16年9月より着手、5年間で完結の運びとなりました。

この著作集は、全15巻（17冊）9,000頁にわたる大著となります。残る第15巻は、11月に刊行を終え、別巻の総索引は明年1月に刊行して終結となります。



【企画展のご案内】

「石見地方のたたら製鉄」というテーマで、22年3月から特別企画展「石見のたたら製鉄」の開催を計画しております。①野たたら→②吹子たたら→③鞆たたら→④天秤鞆たたら、4段階の発達過程を資料で検証します。江戸時代に紀伊国屋弥左衛門による長割鉄の買付け文献に見る全国への流通の実態、明治初年の鉄山の疲弊による鉄山関係者の儀定書に見る石見地方の鉄山の衰退の歴史を企画展で公開します。（浜田市金城歴史民俗資料館）

フランスからラサル氏夫妻（チベット学者）来日

7月12日（日）開催された、「能海寛研究会」第15回年次大会にフランスからラサル氏夫妻が参加されました。ラサル氏は、チベット学者としてチベット資料の世界的なコレクターです。ラサル氏から能海寛記念館が出来ることを希望され、一先ず、能海寛研究会へチベット仏像（銅仏）と金剛（水晶）の2点がプレゼントされました。研究会では、記念館が出来るまでの間、11月から金城歴史民俗資料館で展示公開することとなりました。



左から岡崎秀紀氏（能海寛研究会新会長）、ラサル氏夫妻

能海寛研究会15周年記念講演会 7月12日(日)



東は、東京・新潟・大阪・鳥取・広島。西は、福岡・佐賀からの記念講演会への参加者。

小学校4年生の社会科見学(民具学習)

浜田市金城民俗資料館へ、雲城小学校4年生18名の皆さんが9月16日に、今福小学校4年生9名の皆さんが12月3日に来館され昔の人々の暮らしや工夫、知恵を学び学習を高められました。

当資料館は、ガラスケースに入っている資料以外は、直接民具体験が手に触って体験出来る資料館です。特に、囲炉裏の間での体験や嫁入り籠に乗っての体験は興味しんしんのようです。



(下の写真は、今福小学校の皆さんです)

古代のたたら製鉄を再現・操業

12月16日に波佐小学校で古代のたたら製鉄に挑戦した。たたらのは、11月に完成して、1か月間乾燥して、早朝、5時から操業を開始して、30Kgの砂鉄と60Kgの木炭を鞆を用いて7時間たたら吹きを行った。今回は、波佐小学校の数年間継続して取り組んでいる「たたら学習」の最終段階のたたら製鉄への挑戦です。

児童の皆さんも一人一人がフイゴ吹き体験・木炭・砂鉄投入の体験を行いました。17日には、銑鉄を取り出す作業を行います。今回の記録写真は、明年3月開催の特別企画展「石見のたたら製鉄」として発表します。

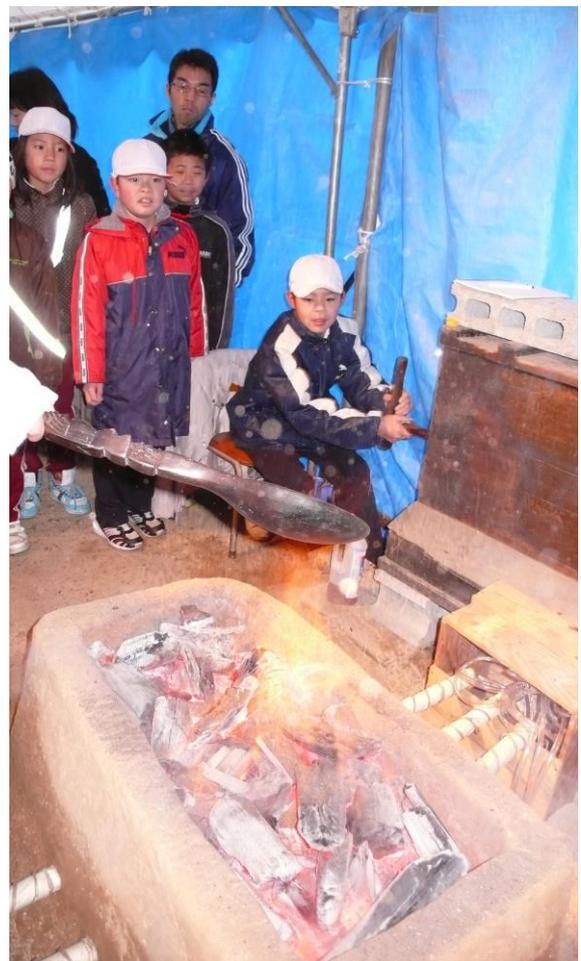
写真は、「たたら学習」に

取り組んだ波佐小学校5・6年生の皆さんです。(2009. 12. 16)波佐小学校にて



実践民俗学 古代「たたら操業」に挑戦！

当資料館は、館外支援として、波佐小学校の「たたら学習」(継続学習)をサポートしました。11月のたたら炉造り、12月15日の炉壁乾燥焚き、16日のたたら操業、17日の銑鉄採取で小学校とタイアップして銑鉄作りを成功しました。砂鉄30Kg、木炭60Kgを7時間かけて一連の作業を実施し、銑鉄12Kgを採取しました。資料館では、記録写真を含めて明年3月1日からの特別企画展「石見のたたら製鉄」で発表します。下の写真は、操業記録です。

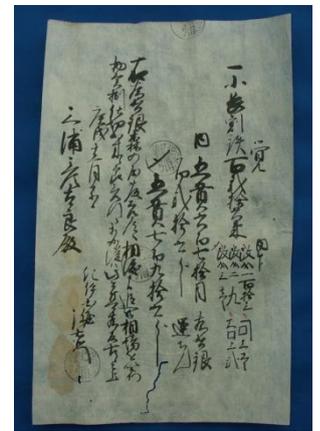


企画展『石見のたたら製鉄と流通』を開催

一世紀前まで栄えていた『石見のたたら製鉄法』に光を与え、黒鉄（平安時代からたたら鉄がクロガネと呼ばれ、年貢として上納されていた）に関する政治的権力の抗争と鉄生産に携わる先人の英知と工夫による踏鞴の歴史的発展と流通関係を「たたら古文書」から解明し、たたら生産に関係する農山村の複合的な暮らしと経済。「踏鞴日記」に見る踏鞴場の仕事と年中行事の関係。「紀伊国屋弥左衛門」、「木津屋周蔵」の長割鉄の買付文書にみる北前船での流通関係を紐解き企画展示します。



たたら関係の展示と紀伊国屋弥右衛門の長割鉄の売買覚文書



文化財防火デーにちなみ消防・防火訓練を実施

1 月 2 3 日（土）午後 2 時から

- 会 場 浜田市金城民俗資料館・金城歴史民俗資料館
訓練内容 通報訓練・誘導訓練・消火訓練・救命救急（AEDの使用法など）
訓練対象 金城資料館登録の自衛消防隊員全員
指 導 浜田市消防署美又出張所職員

企画展『石見のたたら製鉄と流通』

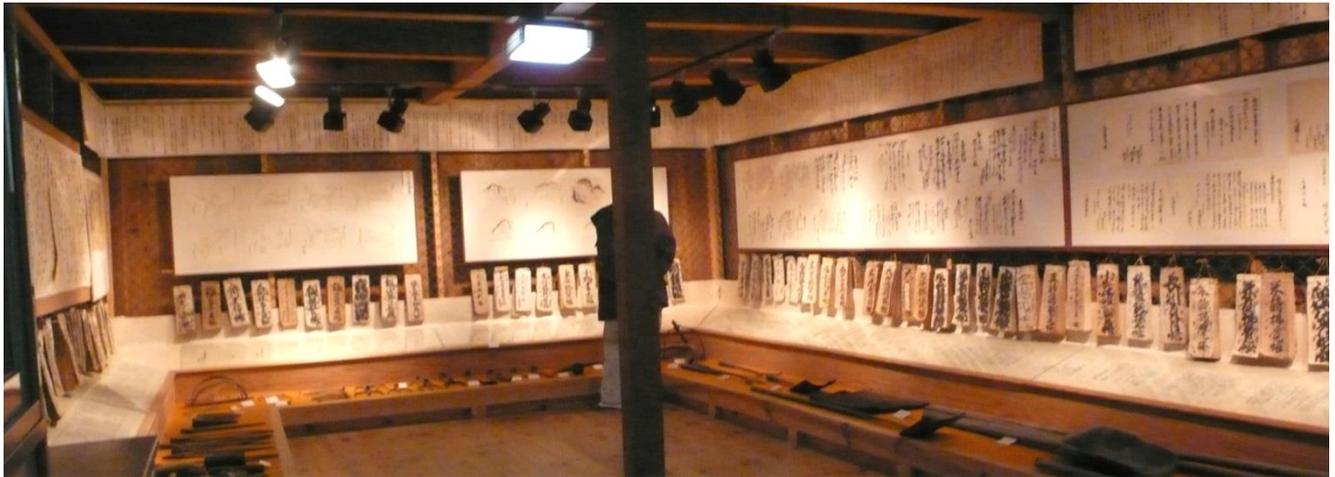
3月6日～8月31日

浜田市金城歴史民俗資料館

休館日＝国民の祭日。 月・木曜日に来館を希望されるお方は、前日までに
TEL 44-0146 番へご連絡をお願いします。会館時間＝9時～17時

企画展『石見のたたら製鉄と流通』

3月6日（土）より開催／8月31日まで



たたら製鉄関係展示会場

石見のたたら製鉄関係（鉄穴流し用具、たたら場用具、たたら関係絵図、たたら古文書、流通関係文書）の企画展を開催します。この企画展に関連して、記念講演会を開催します。日時は、3月21日（日）、午後1時から、『倭国一博士のたたら製鉄調査をめぐって』と題し、島根県古代文化センター専門研究員角田徳幸氏をお迎えします。どなたでも、お気軽にご聴講くださいませ。

実践『たたら製鉄』再現 3月2日(火)

今年度、2回目の『たたら製鉄』（三分の一の炉）の火入れを行います。今回は、企画展展示用として実施するものです。せっかくの機会ですから、体験・見学希望者は、事前にご連絡いただければ、20名程度を受け入れます。

今回は、砂鉄150Kgを用います。作業時間は、午前8時から10時間を予定しております。詳細については、お問い合わせください。（TEL090-4897-2818 隅田）

講演会のお知らせ

演 題 『倭国一博士のたたら製鉄調査をめぐって』

講 師 角 田 徳 幸 氏（島根県古代文化センター専門研究員）

日 時 平成22年3月21日(日) 午後1時

会 場 浜田市金城町波佐 ときわ会館 (0855) 44-0146

第35回文化講演会のご案内

資料館の指定管理者である「西中国山地民具を守る会」は、例年文化講演会を実施しています。今年度は、金城歴史民俗資料館企画展「石見のたたら製鉄と流通」に併せて、下記の日程で講演会を実施しますので、是非ともご聴講くださいませ。俵国一先生は、浜田市出身のたたら製鉄研究の先駆けであり、今回の講師先生は、俵先生が調査された靖国たたら発掘に携われた角田氏をお迎えして講演会を開催するものです。

記

- 日 時 3月21日(日) 午後1時～3時
- 会 場 浜田市金城町波佐 ときわ会館
- 演 題 「俵国一博士のたたら製鉄調査をめぐって」
- 講 師 角 田 徳 幸 氏
(島根県古代文化センター専門研究員)
- 主 催 西中国山地民具を守る会
- 入場料 無 料

企画展『石見のたたら製鉄と流通』

3月6日～8月31日

浜田市金城歴史民俗資料館

休館日＝国民の祭日。 月・木曜日に来館を希望されるお方は、前日までに
TEL 44-0146番へご連絡をお願いします。会館時間＝9時～17時

企画展『石見のたたら製鉄と流通』の見どころ

只今開催中の『石見のたたら製鉄と流通』は、当歴史民俗資料館に収蔵している資料を以て企画展を開催しております。たたら関係資料千数百点の中から特異な資料を抽出して展示しています。今回、新しくパネル30点を加え、たたら製鉄の歴史的変遷や、浜田市を中心とした、たたら場、鉄穴場、鍛冶屋の絵図、儀定書、売仕切証、入相山の売買契約書、勘場の図面、桂迫たたら所の大福帳、たたら用具、鉄穴流し用具、鍛冶屋用具、勘場用の天秤ばかり、紀伊国屋弥左衛門の長割鉄買付け証文（下方の写真）、たたら製鉄での銚鉄、蜂目銚、鋤、二丁鞆たたら、などをご覧ください。

なお、この資料館自体が「たたら倉」として、江戸時代後期から明治中期まで、たたら製鉄の長割鉄などの製品を保管する蔵であった。二階の屋根裏の「船底天井」は一見の価値があります。

昨年12月と今年3月2日に波佐小学校で児童の皆さんと一緒に火入れした「たたら製鉄」を体験した写真パネルもあわせて展示しております。

下の写真は、この企画展を波佐小学校5・6年生の「たたら学習」で見学されている写真です。



たたら製鉄講演会の開催報告

3月21日に開催した第35回文化講演会は、島根県古代文化センター専門研究員の角田徳幸氏をお迎えして、『倭国一博士のたたら製鉄調査をめぐって』と題して、開催しました。山口市、松江市の遠方からもたたら製鉄に関心のある方が多数参加いただき熱心に聴講され、多くの質問も出され、関心の深さを示されました。倭博士は、明治31年に島根、鳥取のたたら製鉄調査で巡回して、各地のたたら場の建物などの平面図、スケッチ図などの遺構の貴重な記録を残されました。講師の角田氏は、倭博士の調査地のたたら製鉄遺跡を考古学の立場で、発掘調査による、地下構造を明らかにされ、遺跡図に倭博士の図面を重ね合わせて、客観的な視点からたたら遺跡を検証された様子を発表いただきました。

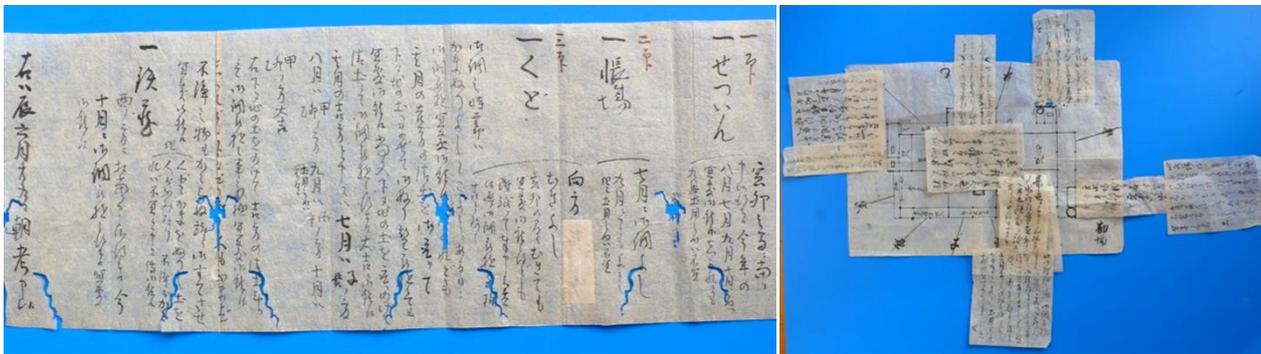
参会されたお方からは、倭博士の業績を初めて知ったという声が多く聞かれました。浜田市出身の文化勲章受章者倭国一博士と橋本明治先生の業績を一市民として、もう少し理解して顕彰する必要があると感じる講演会でありました。講演の後、企画展「石見のたたら製鉄と流通」を見学いただきました。



「桂迫たたら場」の勘場の陰陽

今回の企画展『石見のたたら製鉄と流通』で展示している「桂迫たたら場」の勘場(たたら場事務所)関係文書に関心を寄せられている。たたら場の勘場を新設するにあたり、方位について見立てを依頼した文書(下部写真)が残されている。この図面によると部屋ごとの方位による注意・説明書きの吉凶が付箋が貼り付けられて記載されている。別添資料で、「帳場」、「くど」、「鉄蔵」「せついん(便所)」の吉凶も記されている。

この文書には「辰歳」との記載があるので、弘化元年6月29日付けのものであることが判る。三浦彦左衛門宛、差出しは、川小田(広島県山県郡北広島町)の茂将となっている。



石見地方一円の砂鉄も使用

「桂迫たたら場」の砂鉄購入記録を見ると近隣の小松木、作見谷、境ヶ谷、小国の各鉄穴場からの仕入れ以外にも、井野村、古和、横山の各鉄穴場。浜砂鉄と目される折居、神主、敬川の砂鉄を購入している文書もある。これらの「小鉄請取帳」の記録によると文政・天保・弘化・嘉永・安政の江戸時代末期に石見地方の砂鉄採集地の方々から購入していることが判る。また、石見地方の「たたら場絵図」、「鉄穴場絵図」、「鉄山儀定書」によって江戸時代末期の鉄山の衰退の経緯を把握できるのである。この企画展は今月一杯である。

企画展『石見のたたら製鉄と流通』

3月6日～8月31日

浜田市金城歴史民俗資料館

休館日＝国民の祝日。 月・木曜日に来館を希望されるお方は、前日までに
TEL 44-0146番へご連絡をお願いします。会館時間＝9時～17時

生誕140年記念

「島村抱月パネル展」を開催中

会 期 8月31日まで（土・日以外は、電話予約願います）

会 場 浜田市金城歴史民俗資料館 TEL0855-44-0146

文豪「島村抱月」の業績をパネル展示して、抱月の生涯を顕彰する企画展を抱月の誕生日に
応答する1月10日から8月31日までの8か月間にわたり開催します。この企画展では、抱月
の数少ない史料を補うため60点のパネルを作成して抱月の幼年期、少年期、青年期、壮年期
を写真資料を豊富に使用して分かりやすい解説で展示しております。



文化財防火デーにちなみ消防・防火訓練を実施

1月22日（土）午前10時から

会 場 浜田市金城民俗資料館・金城歴史民俗資料館
訓練内容 通報訓練・火災避難訓練・救命救急（AEDの使用法など）
訓練対象 金城資料館登録の自衛消防隊員全員
指 導 浜田市消防署美又出張所職員

第36回文化講演会のご案内

金城資料館の指定管理者である「西中国山地民具を守る会」は、例年文化講演会を実施しています。今年度は、金城歴史民俗資料館の企画展「島村抱月パネル展」に併せて、下記の日程で文化講演会を実施しますので、是非ともご聴講ください。

講師の岩町功氏は、永年にわたる抱月研究の先駆者であり、一昨年、島村抱月の研究著書「評伝 島村抱月」上・下巻を上梓されております。今年、抱月生誕140年を記念して岩町功氏をお迎えして講演会を開催するものです。お気軽にご来場くださいませ。

記

日 時 3月13日(日) 午後1時～3時

会 場 浜田市金城町波佐 ときわ会館

演 題 「島村抱月の仕事」～芸術座の活動～

講 師 岩 町 功 氏

(島村抱月研究家、石央文化ホール顧問、浜田市教育文化財団副理事長)

入場料 無料

企画展『島村抱月パネル展』

1月10日～8月31日

浜田市金城歴史民俗資料館

開館時間＝9時～17時。土・日曜日以外にご来館を希望されるお方は、前日までに
TEL 44-0146番へご連絡をお願いします。

文化財研修旅行を実施

7月17日（日）松江・出雲方面へ

民具を守る会の研修旅行を7月17日（日）に松江・出雲方面へ文化財探訪の旅に出かけました。朝7時30分にときわ会館前を出発し、一路出雲路へと向かいました。最初は、島根県古代文化センターを訪問し、常設展を見学しました。荒神谷から出土した国宝の銅剣・銅矛が里帰り展示されていました。松江では堀川で昼食をとり、この春オープンした「松江歴史館」を見学し、松江開府400年の歴史を見学した。歴史館の前から堀川を渡って、松江城を見学した。国宝指定の動きも伺っているが、まだ多くの県民には広報が行き届いていないのは残念だ。山陰高速道の全線開通の県民の悲願と同じで、官民一体で気運を盛り上げようとするパワーと気概が薄いのが現実である。やはり、どちらも東西の格差が影響しているのであろうか。

最後の見学先は、荒神谷博物館を訪ねた。平野学芸員さんより洞穴遺跡の展示説明を聞き、参加者一同喜んでいました。古代ハスを見学した。午前中が見ごろな時間帯であることを知って見学コースを逆にすれば良かったかもしれない。午後7時にときわ会館へ無事到着しました。



「昔の暮らしと民具」

～原井小学校3・4年生が民俗資料館見学～

9月30日、原井小学校3・4年生82名の皆さんが浜田市金城民俗資料館へ来館されました。「パワーポイント」による「民具学習」と「民具資料見学」を各学年とも1時間30分ずつ学習され、囲炉裏端体験や嫁入り籠に乗る体験などを行いました。写真は、当日の様様です。



市指定文化財「笠松峠の畳石路」の清掃作業

館外での文化財保護活動として毎年実施している笠松峠の畳石路の草刈り清掃を去る10月2日（日）に会員18名の参加の下に実施して、安全に通行が出来るようになりました。全長1,800mの内、堰堤から頂上までの1,200mの間を草刈作業と倒木の除去作業を中心に行い、旧津和野奥筋街道の「紙と鉄の道」として栄えていた往時を偲びました。写真は、作業前の記念写真です。



第37回文化講演会のご案内

資料館の指定管理者である「西中国山地民具を守る会」は、毎年文化講演会を実施しています。今年度は、金城歴史民俗資料館常設展「金城のたたら製鉄と流通」に併せて、下記の日程で講演会を実施しますので、是非ともご聴講くださいませ。

記

日 時 3月11日(日) 午前10時～正午

会 場 浜田市金城町波佐 ときわ会館

演 題 「近世石見地方のたたら経営とその特質」

講 師 仲野義文氏(石見銀山資料館長)

主 催 西中国山地民具を守る会

入場料 無 料

※ ※ ※ ※ ※

『民具を用いた労働慣行』好評発売中！

A4版・P226 定価3,000円(税込み) 発行者：西中国山地民具を守る会
(内容) I.石見波佐地方の紙漉き習俗 II.石見の紙布づくり III.紙漉き用具・習俗から見た東西の変遷 IV.浜田市の民俗調査から V.石見山間部の暮らしと年中行事 VI.波佐の年中行事 VII.写真「楮蒸し作業・紙漉き工程・紙布づくり」 VIII.写真「民具を用いた労働慣行」(屋根葺き・荒起こし・代掻き・床ならし・代満て・稲扱ぎ・唐臼挽き・早稲搗き・楮蒸し・楮の皮剥ぎ・楮こすり・紙叩き・紙漉き・板乾し・麻の伐採・麻蒸し・大花田植・代掻凶) IX.指定民具一覧 X.西中国山地民具を守る会の活動記録など。貴重写真満載。

国・県指定文化財でのふるさと学習(昔の暮らしと民具)は

浜田市金城民俗資料館

偉人・歴史学習(古代史・中世史・たたら製鉄)は

浜田市金城歴史民俗資料館

文化財防火デーにちなむ消防（通報・避難・消火）訓練

1月28日（土）午前10時から浜田消防署美又出張所（2名）の指導の下に金城資料館の消防（通報・避難・消火）訓練を実施した。自衛消防隊員の参加者は、15名で各自が119番通報、避難誘導訓練などの実地訓練を行った。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に奈良県法隆寺の国宝「金堂壁画」が火災による被害を受けたことを教訓に被害から文化財をほごすることを目的に定められています。金城資料館は2館あり両館とも国・県・市指定文化財を所有しており、火災や盗難から貴重な文化財を守っていかなければなりません。当館は、昭和48年開館以来、毎年1月の第4土曜日に自衛消防訓練を実施しております。



浜田市内の各小学校から民具学習に来館

今年度の資料館見学は、原井小学校3～4年生、後野小学校3年生、雲城小学校3～4年生など多数の児童の皆さんが社会科学習、昔の暮らしと民具について学習されました。



第37回文化講演会ご案内

「近世石見地方のたたら経営とその特質について」

講師：仲野義文氏（石見銀山資料館館長）

日 時 3月11日（日）午前10時～正午
会 場 浜田市金城町波佐 ときわ会館
主 催 西中国山地民具を守る会
入場料 無 料

たたら製鉄講演会（パートⅢ）の開催報告

3月11日に開催した第37回文化講演会は、石見銀山資料館長仲野義文氏をお迎えして、『近世石見地方のたたら経営とその特質について』と題して、開催しました。遠くは広島市からも、たたら製鉄に関心のあるお方が多数参加いただき熱心に聴講され、多くの質問も出され、たたら製鉄に関心の深さを示されました。講演では、文献史料をベースに石見銀山と江川流域のたたら経営の関係、鉄山株の売買、銑鉄の流通先、出雲と石見の生産量の比較などを通して石見のたたら経営の実態解明を深める必要を力説されました。

参会されたお方からは、石見地方の「たたらネットワーク」を構築に尽力してほしいなどの意見も提案されました。講演の後、常設展「石見のたたら製鉄と流通」を見学していただきました。（写真は、当日の講演会場の模様）



たたら製鉄関係古文書調査の中間報告

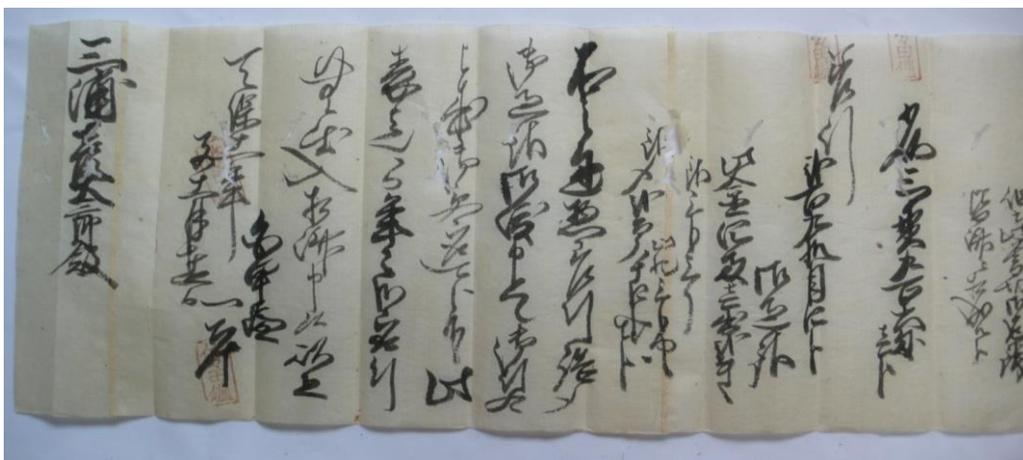
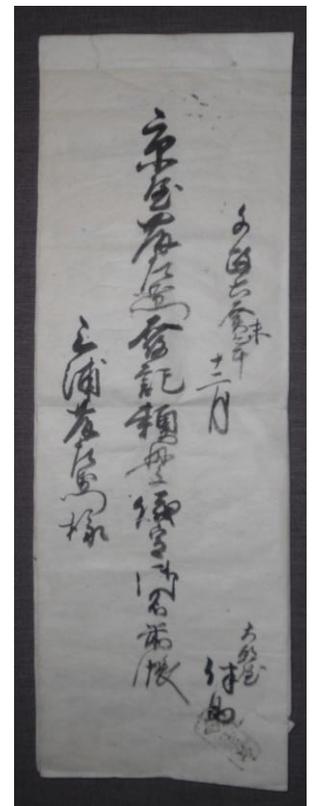
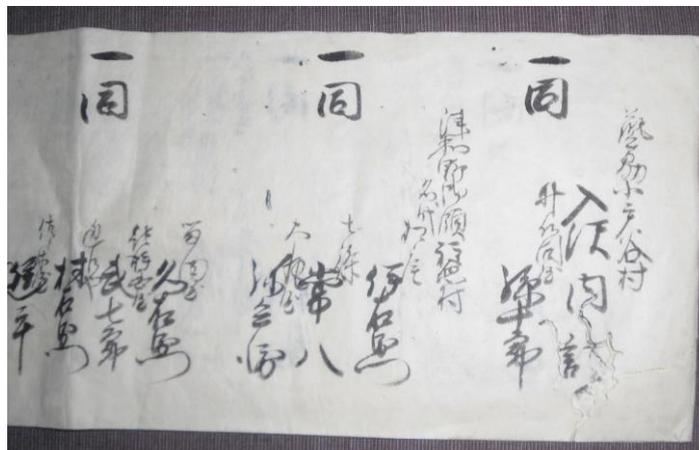
平成23年度からスタートした「たたら古文書」の一覧データ作成作業は、2年目を迎え23年度が650点。24年度が588点のデジタル化処理を終えたところである。

今回は、特に貴重な古文書の発見があった。天保11年、島村抱月の祖父・佐々山一平が白甲鉦から発出した波佐庄屋三浦彦左衛門宛ての書状によると長沢鉦在籍中に借り入れた借米の返済方法についての記述から、白甲鉦以前に長沢鉦に居たことを証明する貴重な文献が発見された。

また、「京屋藤左衛門登記頼母子議定書」によると芸州戸谷村入沢姓の関係者が頼母子講に参加している。抱月の父半三郎の弟の佐々山小太郎は明治12年に小国村「下土居」から戸谷村の入沢家へ養子縁組をしていることから佐々山家と入沢家は親戚関係にあったものと考えられる。これらの二通の古文書から判る事は、一平を長沢鉦から白甲鉦の支配人として久佐庄屋佐々田氏が要請した裏付け資料となるものである。天保11年の文書には白甲鉦一平の署名の下に「佐々田鉦」の朱印が押印されている。

桂迫鉦の古文書を中心に精査することで、石見全域の鉄山関係者の交易・流通・販路が解明され、鉄山を中心とした村内の経済サイクルの効果など研究テーマとして無限の情報が潜んでいる。今後は鉄山経営者の書簡や現場での銑鉄の発注、依頼状、送状など沢山の鉄山資料の整理が残されている。

写真は、整理中の一平文書の一部。



文化財防火デーにちなむ消防（避難誘導・消火）訓練

1月26日（土）午前10時から浜田消防署美又出張所から2名（田中・拝上氏）の指導の下に金城資料館の消防（避難誘導・消火）訓練を実施した。自衛消防隊員の参加者は、11名で各自が避難誘導訓練・消火器による消火訓練などの実地訓練を行った。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に奈良県法隆寺の国宝「金堂壁画」が火災による被害を受けたことを教訓に被害から文化財をほごすることを目的に定められています。金城資料館は2館あり両館とも国・県・市指定文化財を所有しており、火災や盗難から貴重な文化財を守っていかなければなりません。当館は、昭和48年開館以来、毎年1月の第4土曜日に自衛消防訓練を実施しております。



第 38 回文化講演会 3月9日(土)

今年の秋には、民俗資料館が開館40周年を迎えます。また、民具を守る会結成45周年を迎えるため、文化財保護活動に関連するテーマで文化講演会を下記の日程で開催いたします。多くの皆様のご参加を呼び掛けております。

記

- 日時 平成25年3月9日(土) 午前10時～正午
会場 金城町波佐 ときわ会館大集会室
演題 「文化財保護活動に携って」～埋蔵文化財と石見神楽～
講師 渡辺友千代氏（匹見上公民館長）
主催者 西中国山地民具を守る会
入場料 無料

第 38 回文化講演会の開催報告

3月9日に開催した第38回文化講演会は、匹見上公民館長渡辺友千代氏をお迎えして、『文化財保護活動に携って』～埋蔵文化財と石見神楽～と題して、開催しました。遠くは広島市からも、文化財に関心のあるお方が多数参加いただき熱心に聴講され、多くの質問も出され、埋蔵文化財や神楽への関心の深さを示されました。

講演では、埋蔵文化財と石見神楽に分けて講演いただきました。前半は、匹見町内の70箇所の縄文遺跡を調査した結果、落葉広葉樹林文化圏での縄文人の死生観に基づく環状石(墳墓)など調査に裏打ちされた知識を披露されました。後半の石見神楽は、天蓋(くも)、採物(榊、鈴、扇子など)、調子、所作、演目、神楽の歴史について、判りやすく解説されました。

(写真は、当日の講演会場の模様)



民俗資料館開館40周年記念イベント開催

市民感謝デー 11月2日～4日(3日間)

今年は、民具を守る会結成45周年、金城民俗資料館開館40周年、金城歴史民俗資料館開館35周年の記念すべき節目の年となります。これを記念して、11月2日～11月4日までの3日間、浜田市金城資料館の入館料無料扱いとして、市民感謝デーのイベントを開催いたします。

11月4日(月)には、記念講演を開催する運びとなり、旅の文化研究所所長の神崎宣武氏を講師にお招きして記念講演を開催いたします。

神崎宣武(かなぎきのりたけ)プロフィール

神崎研究室室長・旅の文化研究所所長。1944年、岡山県生まれ。武蔵野美大在学中より宮本常一に師事。以降、国内外の民俗調査・研究に従事。陶磁器の技術伝播の調査と民具の収集に始まり、食文化に展開。旅への関心は、フィールドワークの体験と旅先で出会った行商の人たちとのつきあいから。郷里の吉備高原では神主でもある。旅の文化研究所所長、日本民俗学会会員、文化審議会委員、東京農大客員教授、五十鈴塾塾長など。

主な著書

吉備高原の神と人(中央公論社)、日本人は何を食べてきたか(大月書店)、しきたりの日本史(角川学芸出版)、酒の日本文化(角川学芸出版)、『漆器』の日本文化(日経)、おみやげ-贈答と旅の日本文化(青弓社)、ちちんぷいぷい-『まじない』の民俗(小学館)、三三九度-日本的契約の民俗誌(岩波書店)、江戸の旅文化(岩波書店)。

関連HP

[旅の文化研究所](#)、[日本民俗学会](#)、[五十鈴塾](#)。



神崎宣武氏

第39回文化講演会

演題「峠を越えた魚」～日本食文化の旅～

講師：神崎宣武氏(旅の文化研究所所長)

日時 平成25年11月4日(月)／午後2時～4時

会場 浜田市金城町波佐／ときわ会館

主催者 西中国山地民具を守る会 入場料 無料

浜田市金城民俗資料館

40周年

浜田市金城歴史民俗資料館

35周年

これら2つの資料館は、11月3日がオープン応当日にあたり、今年は、11月2日から4日までの3日間、「市民感謝デー」として、入館料無料扱いで資料館を開放しています。この機会に貴重な文化財に関心を深めていただくことが今回の趣旨であります。

民俗資料館には、国指定重要有形文化財「波佐の山村生産用具」758点。島根県指定有形民俗文化財「波佐の山村生活用具」221点を含む3,000点の資料が展示公開されている。

歴史民俗資料館には、浜田市指定歴史資料「能海寛関係資料」375点を含む3,000点の能海寛資料。文豪・島村抱月の資料。たたら製鉄関連資料2,000点。埋蔵文化財4,000点。地方文書500点を収蔵・公開展示しています。

この2つの資料館で考古学、冶金学、歴史学、民俗学の学習ができる資料館として人気です。市内の小・中学校の「ふるさと学習」の支援体制も整っており、要望があれば、出前授業にもパワーポイントによる講義も行っております。

これからも付加価値のある充実した資料館運営を目指していきます。皆様方には、より多くの方々へ口コミPRで当資料館の存在価値をご周知方いただきますようお願いいたします。

民具を守る会創立45周年を迎える

昭和43年11月に誕生して、満45年を迎えました。45年間の活動記録を小冊子『実践民俗学提唱45年』をこのほど発行して、これまでご支援をいただいた関係者へ配布しました。

「実践民俗学」という言葉が定着してきたのは、ここ10年の間です。当初は、そんな造語は無いとまでいわれていました。長いようで短い45年間でありました。

実践民俗学で旧製法による紙漉き再現、農具を用いた労働慣行、麻の皮蒸し再現、たたら製鉄再現など10件の実践民俗学を提唱して、聞き取り調査による再現、時代考証による民俗再現で記録写真に撮り、資料館の展示品に付加価値を付けています。このことが、全国の類似資料館と大きく違う点であります。そして、リピーターの見学者が何回も訪問される所以でもあります。

第39回文化講演会

演 題 「峠を越えた魚」～日本食文化の旅～
講 師 神崎宣武氏(旅の文化研究所所長)
日 時 平成25年11月4日(月)／午後2時～4時
会 場 浜田市金城町波佐／ときわ会館
主 催 西中国山地民具を守る会 入場料 無料

「市民感謝デー」&「記念講演会」盛会裏に終る

浜田市金城民俗資料館開館40周年、歴史民俗資料館開館35周年を記念して、「市民感謝デー」として、11月2日～4日までの3日間無料開放としました。300余名の皆様のご来館をいただきました。4日に実施した記念講演会『「峠を越えた魚」～日本食文化の旅～』と題して旅の文化研究所長の神崎宣武氏を迎えて開催いたしました。広島市、松江市、益田市など遠方からのご聴講の方もあり、盛会裏に終えることが出来ました。講演では、和食の原点は、ハレ(祝祭日の食事・一汁三菜)とケ(日常の食事・一汁一菜)に分けることができる。今日ではハレとケの食事形態が混在している。しかも洋食の比率も多くなった。和食文化を世界遺産にする運動が進んでいる中で、和食の定義を今一度、和食文化として考え直す必要があると提言された。下記の写真は、当日の講演会の模様です。

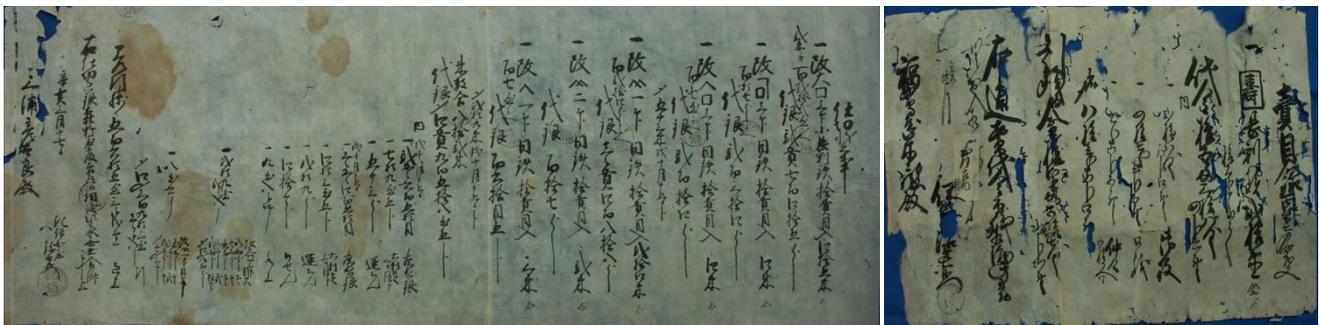
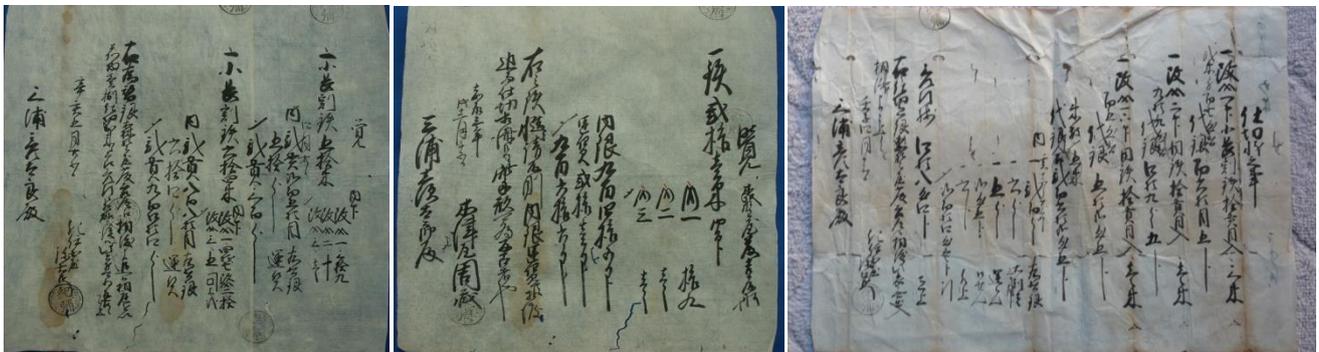
11月2日から4日まで「市民感謝デー」として資料館の無料開放で3日間で、300余名のご来館をいただきました。講演会終了後に神崎先生も資料館を見学いただきました。



江戸末期の「たたら製鉄」の流通が明らかに

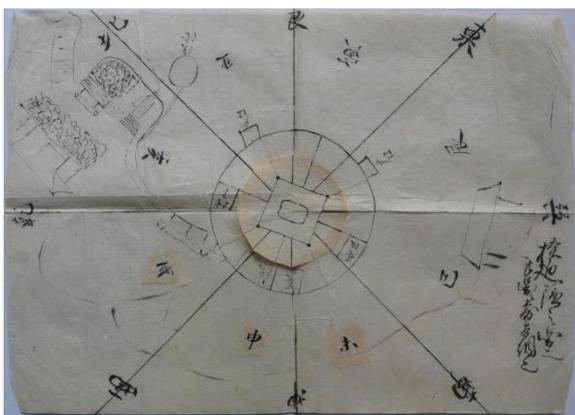
金城歴史民俗資料館のたたら関係文書の悉皆調査中に、銑鉄の流通先が明らかになる古文書が発見された。江戸末期の天保・弘化・嘉永頃、鍋瀧鉦、桂迫鉦を経営している三浦彦太郎の産銑を山形県酒田市、熊本県高瀬町、福岡県博多、山口県三田尻などの商家と銑鉄の売買が行われ北前船によって石見の産銑が広域に流通していたことが判明した。

三田尻の商家宮津屋保左衛門、出羽国庄内酒田の紀伊国屋弥左衛門、木津屋周蔵、森野屋藤吉、布代屋三四郎などの買い付けの仕切証が多数発見され、今後の解明が急がれるところである。



たたら製鉄の陰陽について

桂迫鑪を開設するに当たって、たたら場の図面に方位を表し陰陽による吉凶を占った。この文書は、広島県山県郡川小田の茂将が見立てた詳細が記されている。また勘場の図面の見立指導も行っている。たたら場打入れ前に吉凶を占い安心して経営が出来るよう配慮した様子が読み取れる。



文化財防火デーにちなむ消防訓練を実施

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日、法隆寺の金堂の壁画の大半が消失したことにより、翌年に「文化財保護法」が制定され、さらに30年に文化財愛護精神を高めるために、この日を「文化財防火デー」と定めたものです。

金城資料館では、1月26日に、浜田消防署美又出張所(宮崎、下間の2氏)の指導の下に、自衛消防隊員10名が避難・誘導訓練、消火訓練、119通報訓練を実施しました。



石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

消防訓練後に、ときわ会館にて、「地域まるごとミュージアム」研修会を開催しました。既に存在している地域の資源を活用して、地域全体を博物館と見立てネットワークする。自然・歴史・文化・景観・まつりを包括する地域資源を活かし地域活性化を図り、エコ・ツーリズムの推進で都市交流・滞在型の観光・体験学習ができるカルチャー・ミュージアムを目指す研修会を実施しました。

企画展『金城の古代・中世の遺跡と山城展』 ～黒金を巡る攻防の歴史～

会期 7月1日～12月28日

縄文時代からの遺跡が多い波佐地区は、「長田別府」、「長田保」、「波佐庄」と変遷した。平安末期には、黒金(たたら製鉄)が年貢注文されていた。たたら製鉄を巡る源平合戦、中世の「波佐谷の合戦」をはじめ戦国時代の毛利・尼子・吉川氏の戦乱の世を潜り抜け、江戸時代は、地域を挙げて「たたら製鉄」で栄えた。千数百年の歳月は「たたら製鉄」の繁栄の歴史でもあった。

今回の企画展では、金城町内の遺跡から発掘された出土品と町内の山城をテーマに企画いたしました。縄文時代からの人々の営み、弥生時代からの稲作開始、そして、鉄穴流しとたたら製鉄で「黒金」を産出。「墾田永年私財法」による鉄穴流しと田畑の開墾、国衙としての荘園体制の下で黒金の攻防を巡って、各地に防備のための山城が築かれた。古代・中世の歴史学習に最適です。

この企画展と常設展「石見のたたら製鉄と流通」を観覧いただくと「たたら製鉄」の歴史と山城を巡る攻防の歴史がより理解できるものと存じます。この機会に是非ともご来館下さい。

【入館ご案内】

開館時間 午前9時～午後5時

開館日 土曜・日曜日。但し、平日は、前日までに電話にて予約願います。

予約先 090-4697-2818 (団体の場合は、展示ガイドいたします)。

入館料金 大人300円(200円)、中学生100円(60円)、小学生60円(30円)。

※入館料は、2館共通券です。団体割引は、25名以上()内の料金です。

浜田市金城民俗資料館(国指定758点・県指定有形民俗文化財221点。3000点の民具)

浜田市金城歴史民俗資料館(能海寛歴史資料・島村抱月資料、たたら関係資料)

天頂山浄蓮寺・能海寛顕彰碑(総ケヤキ造り寺院、チベット探検家の生家、ハクモクレン)

常磐山八幡宮(佐々木高綱建立・尼子経久再建立の神社・大絵馬額(全16点))

・みんなで守る郷土の自然地域「常磐のカシ林」自然散策遊歩道(自然散策コース)

・大杉5株(県指定天然記念物・島根県老樹名木・島根県巨樹130選)

普明山永昌寺(尼子経久創建の元臨濟宗の永正寺・尼子経久公の墓)

笠松峠の畳石路(市指定史跡、畳石敷設区間1.2Kmで全国第二位の距離)

千年比丘一号墳(市指定遺跡、石見地方最古の古墳・径18mの円墳)

波佐一本松城跡(市指定史跡、中世の山岳城郭・堅型式畝堀・平安末期の弓矢から元亀・天正の鉄砲までの城郭)で一見の価値があります。

能海寛歌碑めぐり(8箇所・10基をめぐる全長6Kmのウォーキングに最適なコース)

ほたる湯館グラウンド・ゴルフ場(ほたる湯館裏の波佐川で源氏ホタルが6月中旬より乱舞)

浜田市金城歴史民俗資料館

(昭和53年11月3日開館)

この歴史民俗資料館は、国道186号線沿いの東側にある白壁の建物です。波佐地方は西中国山地の良質な真砂砂鉄と豊富な木炭資源に恵まれていたことから「たたら製鉄法」が古来行われてきました。鉄穴流し場、鉦所、鍛冶屋などの遺跡は50数箇所あります。

特に、この資料館は鍋瀧鉦、栃下鉦から銑鉄を製品とした「長割鉄」などを問屋へ出荷するまでの間、一時的に、この蔵に集荷していたことから「たたら蔵」と呼ばれていました。砂鉄や長割鉄を運搬するには、農家で飼育していた馬103頭がこれに携っていました。

200年前に建てられた、この蔵は所有者佐竹操氏から市が寄贈を受け文化財として永久に保存活用をはかるため「歴史民俗資料館」として改修した展示館です。

こうしたことから「二丁鞆鉦」の復元展示、たたら関係用具80点、たたら古文書2,500点、たたら製鉄品などを展示。また、この町に生まれた偉人、チベット巡礼探検家・能海寛の歴史資料3,000点、文豪・島村抱月関係資料50点、埋蔵文化財3,000点などの歴史資料約1万点を収蔵・展示しています。

建築面積 68.85㎡ 床面積 137.7㎡

◎パワーポイント映像による「ふるさと学習」も行っています。詳細は、TEL090-4697-2818へお問合せください。



浜田市金城歴史民俗資料館



二丁フイゴ鉦



能海 寛歴史資料

第40回文化講演会／3月15日（日）

日時 平成27年3月15日(日)午前10時～正午

会場 ときわ会館 浜田市金城町波佐

演題 『宮本常一のまなざしの継承

—地域に根ざした資料館をめざして』

講師 高木泰伸氏（周防大島文化交流センター学芸員）

主催者 西中国山地民具を守る会

入場料 無料

第40回文化講演会開催

3月15日(日)午前10時から、ときわ会館において周防大島文化交流センター学芸員高木泰伸氏を迎えて「宮本常一のまなざしの継承—地域に根ざした資料館をめざして」と題して講演会を開催した。広島県、山口県の資料館学芸員や民俗学に関心のある方たちが一堂に会して、講演に聞き入った。周防大島で地域交流員と連携して資料館運営の実践活動が映像を交えて詳細に紹介された。



座談会「地域に根ざした資料館運営」

3月15日、午後1時から2時間に亘って、地域における資料館の運営について意見交換を行った。参加者は16名(周防大島文化交流センター3名、八幡生涯学習むら、広島民俗学会2名、芸北文化保存伝承館、中国連合会、有・グリーンブリーズ、産興、中国総合研究センター、民具を守る会5名)活発な意見交換を行った。有意義な会であったので、継続して開催したいという提案があった。参加者の自己紹介、パワーポイントによる「実践民俗学」の実践報告を受けて、ディスカッションによる意見交換を行った。



民俗資料を通して認知症の予防や抑制

浜田市金城民俗資料館では、「民俗資料回想セラピー」として、高齢者を対象に収蔵している民俗資料を活用した回想セラピーが出来る資料館運営を行っています。かつて自分たちが使用していた民具に手を触れながら楽しいおしゃべりや民具を用いた労働慣行の写真映像を観て認知症予防を中心に予防や進行抑制に支援出来る資料館を目指しています。介護施設入所者や高齢者のグループによるご来館を是非お勧めいたします。



囲炉裏の間の移築展示



田植組の代みて



麻蒸し作業



花田植の模様

浜田市金城民俗資料館／浜田市金城歴史民俗資料館

所在地：浜田市金城町波佐イ 425-5 開館日：土・日曜日(Am9:00～Pm5:00)

月曜日～金曜日の間に、来館をご希望の方は、事前にご予約をお願いします。

入館料金 大人 300円 中学生 100円 小学生 60円 (団体割引25名以上)

「民俗資料回想セラピー」等についての照会は、携帯電話：090-4697-2818 へお願いします。

企画展『能海寛の地域教育から120年』 ～明治28年／波佐倶楽部・高島教育～

チベット巡礼探検家・能海寛が明治28年に興した「波佐倶楽部」と離島高島での「へき地教育」の実践から120年を迎えた。浜田市金城歴史民俗資料館では、企画展「能海寛の地域教育から120年」を9月1日(火)から28年3月31日(木)まで開催します。

波佐倶楽部は、寛が郷里で青壮年層に呼びかけ35名で設立した「地域教育」の団体で、郷土史の編纂、世界史の研究、禁酒運動、倭約貯金など幅広く活動した。高島での「寺子屋教育」は、18日間という短期間ではあったが、島民に与えた影響は大きかった。離島へき地教育の先駆者と位置づけられよう。

元禄時代に高島へ渡った石陽城主の家臣米山重矩氏の貴重な高島記録を能海寛が書き写しているものを今回、初公開している。

これらの事象を詳細に調査し、今回の企画展の運びとなった。期間中のご来館をお勧めします。

会 場 浜田市金城歴史民俗資料館（金城町波佐） **開館日** 土・日曜日 Am9:00～Pm5:00

※ 団体で展示ガイドの希望や、平日に来館希望の場合はご連絡ください。(☎090-4697-2818)



民俗資料回想セラピーを体験

かつて使用していた民具に触れ、50年前の生活体験の映像をセットで視聴して、回想することで、「認知症」の予防・抑制に効果があるという観点で、「民俗資料回想セラピー」として推進しています。所要時間は、2時間30分が必要です。民俗資料館見学が1時間、映像視聴が1時間、回想懇談時間が30分です。

当資料館では、介護施設入所者、高齢者グループなどの皆様のご活用、ご利用を支援いたします。

